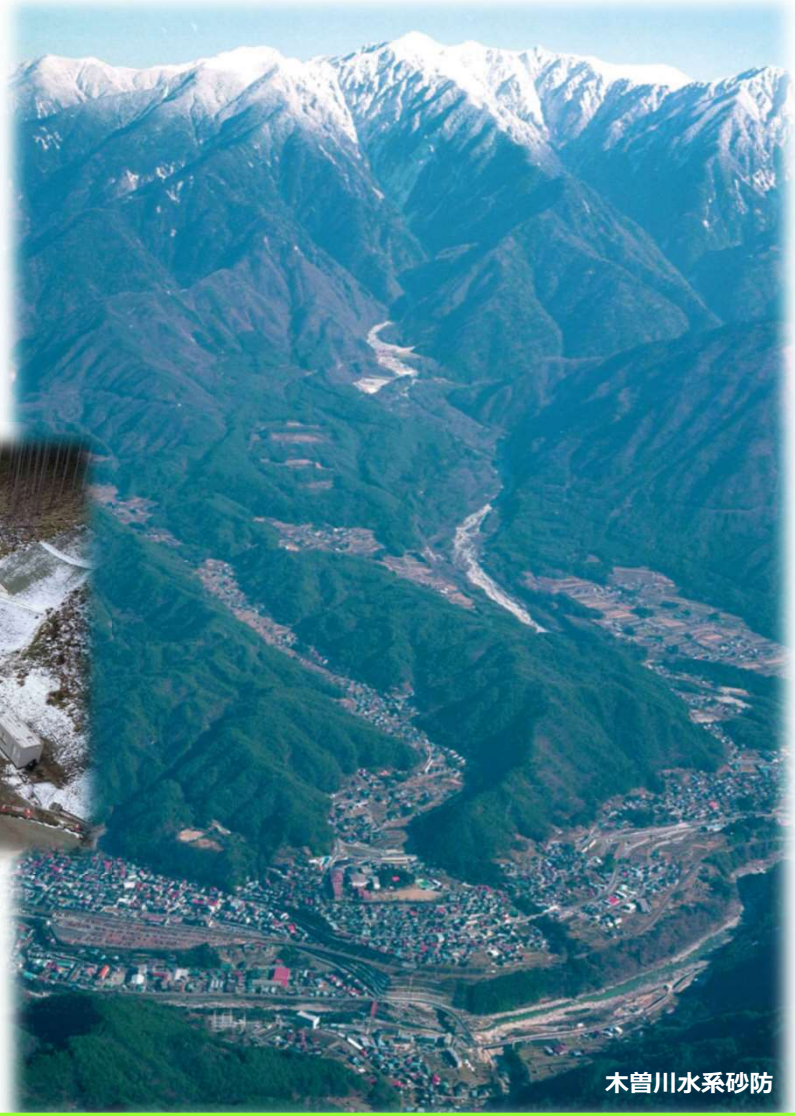
滑川第１砂防堰堤［上松町］

下在砂防堰堤工群（宮ノ沢砂防堰堤）［大桑村］

四ッ目川遊砂工［中津川市］



木曽川水系砂防

令和６年度 砂防事業の概要

国土交通省　中部地方整備局
多治見砂防国道事務所

多治見砂防国道事務所における砂防事業の概要

・多治見砂防国道事務所では、木曽川上流域の7支川等の流域面積538.0km²及び庄内川（土岐川）の7支川等の流域面積149.7km²に係る直轄砂防事業と御嶽山火山噴火に係る減災対応を実施しています。

・主な実施区域は、岐阜県の３市（多治見市・土岐市・中津川市）、長野県の２町１村（木曽郡上松町・大桑村・南木曽町）となります。

木曽川水系
越百川第３砂防堰堤［大桑村］

【木曽川砂防】

・木曽川上流域は、林地の荒廃が著しく、南木曽災害などの土砂災害の再度災害防止を目的に昭和53年より直轄事業化されています。

・中津川流域も同様に林地の荒廃が著しく、四ッ目災害などの土砂災害の再度災害防止を目的に昭和12年より直轄事業化されています。

・砂防堰堤、渓流保全工などのハード対策と併せてCCTVカメラや光ケーブルなどのソフト対策を実施することで土砂災害に対する地域の安全・安心を図ります。

木曽川水系
穴ヶ沢第１砂防堰堤［中津川市］

庄内川水系
平園第６砂防堰堤［多治見市］

庄内川水系
深山谷第１砂防堰堤［多治見市］

漫画「進撃の巨人」
協力：諫山創／講談社

※モザイクデザインは、講談社より使用許可を得たものを多治見西高校まんが部の生徒によりデザインされたものです。その後、笠原陶磁器工業共同組合によりモザイクタイル化したものを砂防堰堤に設置しています。

【庄内川砂防】

・事業区域は、都市化が進み、名古屋圏のベッドタウンとしても開発が進められています。

・庄内川（土岐川）流域は、薪材の乱伐等により林地の荒廃が著しく、土砂災害の防止及び市街地形成により拡大した生活圏の安全性向上を目的に、昭和12年より直轄事業化されています。

・砂防堰堤、渓流保全工などのハード対策と併せてCCTVカメラや光ケーブルなどのソフト対策を実施することで土砂災害に対する地域の安全・安心を図ります。

木曽川水系の概要

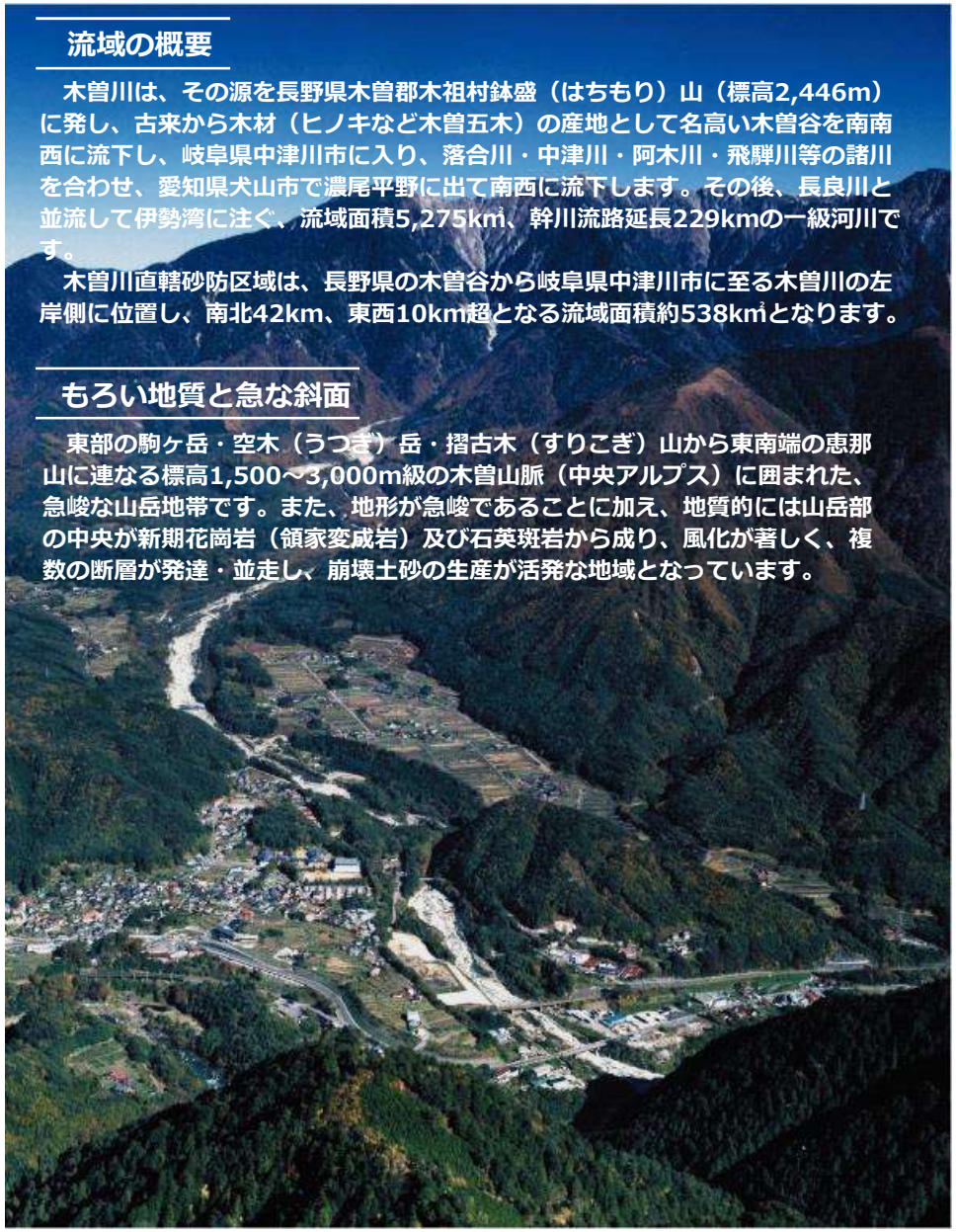
流域の概要

木曽川は、その源を長野県木曽郡木祖村鉢盛（はちもり）山（標高2,446m）に発し、古来から木材（ヒノキなど木曽五木）の産地として名高い木曽谷を南南西に流下し、岐阜県中津川市に入り、落合川・中津川・阿木川・飛騨川等の諸川を合わせ、愛知県犬山市で濃尾平野に出て南西に流下します。その後、長良川と並流して伊勢湾に注ぐ、流域面積5,275km²、幹川流路延長229kmの一級河川です。

木曽川直轄砂防区域は、長野県の木曽谷から岐阜県中津川市に至る木曽川の左岸側に位置し、南北42km、東西10km超となる流域面積約538km²となります。

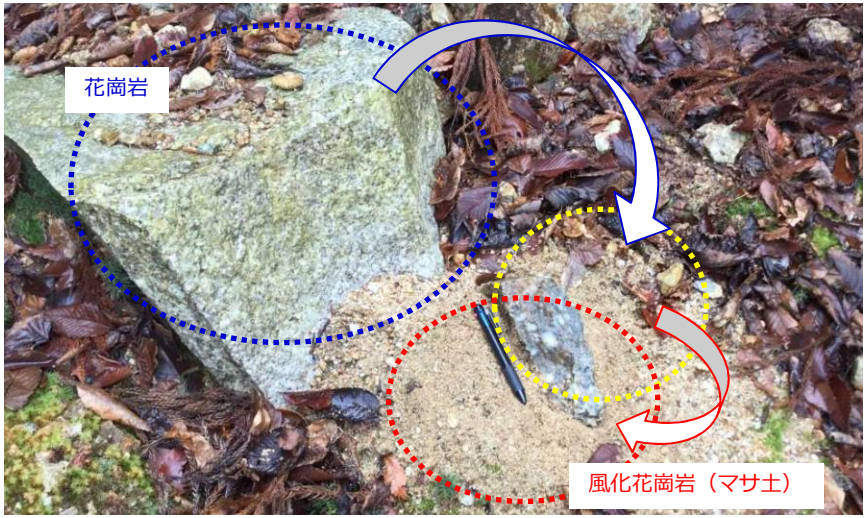
もろい地質と急な斜面

東部の駒ヶ岳・空木（うつぎ）岳・摺古木（すりこぎ）山から東南端の恵那山に連なる標高1,500～3,000m級の木曽山脈（中央アルプス）に囲まれた、急峻な山岳地帯です。また、地形が急峻であることに加え、地質的には山岳部の中央が新期花崗岩（領家変成岩）及び石英斑岩から成り、風化が著しく、複数の断層が発達・並走し、崩壊土砂の生産が活発な地域となっています。



中央アルプスから流れ出る支川渓流(滑川)

■風化等による花崗岩の変化の様子

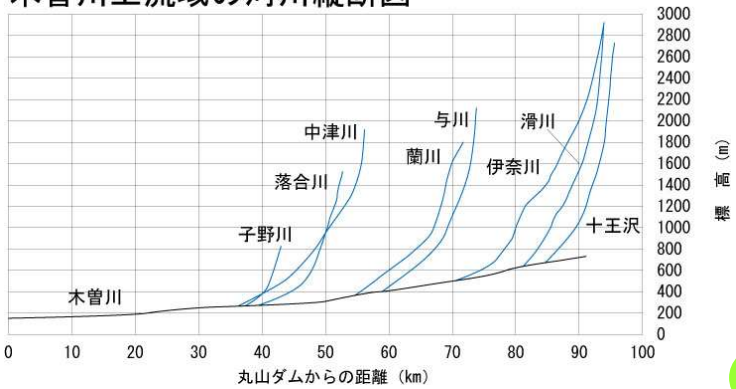


木曽川や滑川の河原では、白くて大きな岩をたくさん見ることができます。花崗岩と呼ばれる岩です。花崗岩はとても硬い岩石ですが、水などの作用で風化しやすくなる性質を持っています。

急流河川と河岸段丘が連続してつながる地形

上流部は河岸段丘が連続してつながる地形で、段丘面に人口や資産が集中しています。3,000m級の山々が連なる中央アルプスから流れこむ支川は、木曽川本川よりもさらに急勾配となっているところが多いです。

木曽川上流域の河川縦断図



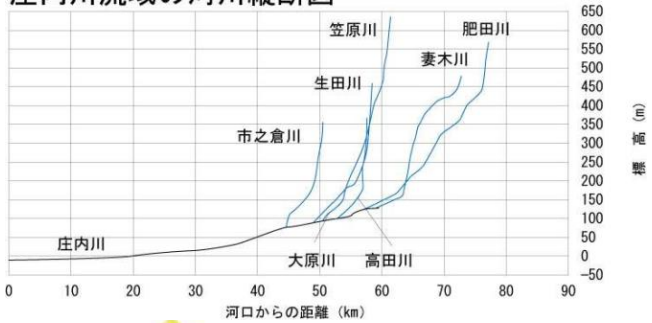
庄内川水系の概要

流域の概要

庄内川（土岐川）は、その源を岐阜県恵那市山岡町の夕立山（標高727m）に発し、幾多の渓流を合わせて流下し愛知県に入り、名古屋市の北西部を貫流し伊勢湾に流入する流路延長96km、流域面積1,010㎢の一級河川です。なお、庄内川は、岐阜県内では土岐川と呼ばれています。

庄内川（土岐川）直轄砂防流域は、肥田川、妻木川、生田川、笠原川、市之倉川、高田川、大原川の各支川が流れ込む土岐川下流部の2市（多治見市・土岐市）にわたる流域面積149.7㎢の流域です。

庄内川流域の河川縦断図

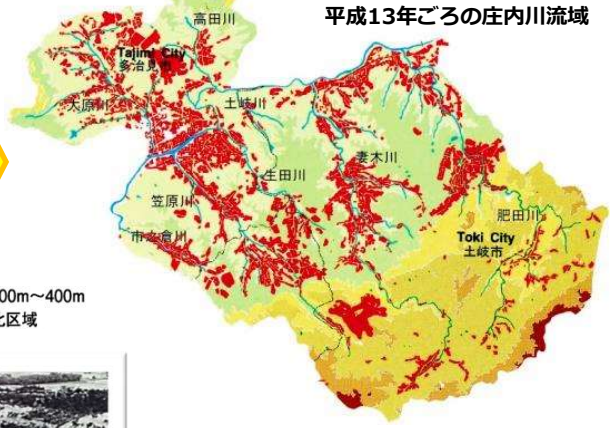


都市化による危険性の増大

人口増加が著しくなった高度成長期からは、山裾近くまで宅地開発による都市化が進み、土砂災害の危険性がより高まっています。

昭和初期庄内川流域

平成13年ごろの庄内川流域



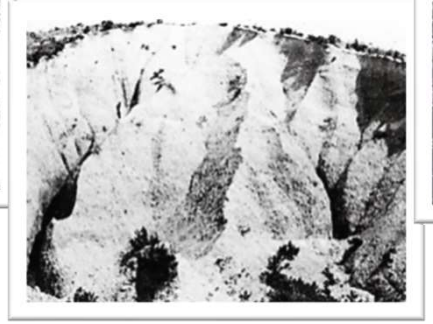
標高0m～100m　標高100m～200m　標高200m～300m　標高300m～400m
標高400m～500m　標高500m～600m　標高600m以上　市街化区域

窯業の発展に伴う山の荒廃

流域には、陶磁器生産に適する瀬戸層群が堆積しており、尾張藩の奨励もあって、江戸時代中頃から、瀬戸・多治見地方は焼き物が盛んとなりました。周辺の丘陵では陶土の採掘や薪を得るための山林伐採が盛んに行われてきました。

このため、大雨が降れば、荒れた丘陵から土砂が流れ出して庄内川支川等の河床を上昇させ、氾濫が繰り返し発生しました。

昭和10年代の
土岐郡笠原町(平園川上流)



昭和20年代の
多治見市長瀬町(多治見IC北)

昭和20年代後半
山腹工施工(昭和27～28年)

現在の山腹工施工地(平成14年)

過去の荒廃状況

庄内川流域は未固結の粘土層や風化しやすい花崗岩が分布していることに加え、複数の断層が存在し、土石流や崩壊が発生しやすい地形・地質構造となっています。

このため、地震や降雨により崩壊が生じ、庄内川本川まで多量の土砂が流出する可能性が高い状況にあります。

直轄事業化までの経緯

【木曽川砂防】

◆木曽川下流域（中津川市）

【昭和7年】
四ッ目川災害により中津川市街に壊滅的な被害

⇩

【昭和12年】
直轄砂防事業を開始
中津川、子野川、
落合川

四ッ目川災害(中津川駅構内)

◆木曽川上流域（南木曽町～上松町）

【昭和41年】
南木曽町三留野他で土石流による甚大な被害

【昭和50年】
七夕災害など土砂災害が頻発

⇩

【昭和53年】
直轄砂防事業を開始
滑川、伊奈川、与川、蘭川

【平成元年】
直轄砂防事業を拡大 残流域

南木曽災害(南木曽町内)

【庄内川砂防】

・庄内川流域では、窯業や生活燃料としての薪材の乱伐等により林地が荒廃していました。
・山地から流出した土砂による河床上昇によって、氾濫が誘発されやすい状況にありました。

【江戸時代】 「石砂留普請（いしすなどめふしん）」と呼ばれる川普請（治山・治水工事）を実施

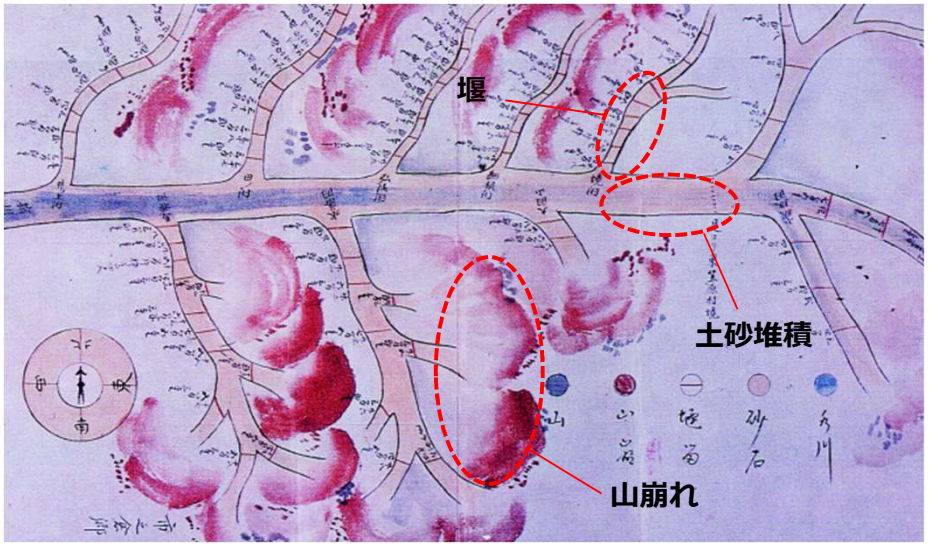
【明治12年】 ヨハネス・デレーケが、「庄内川山丘土砂流送の件」を内務省に提出

【大正6年】 愛知県と岐阜県が費用分担し庄内川上流（岐阜県）の砂防工事を実施

⇩

【昭和12年～16年】 直轄砂防事業を開始（妻木川・笠原川）（市之倉川はS14年、土岐川本川残流域はS16年）

【昭和25年～32年】 直轄砂防事業を順次拡大（肥田川S25年・生田川S26年・大原川S27年・高田川S32年）



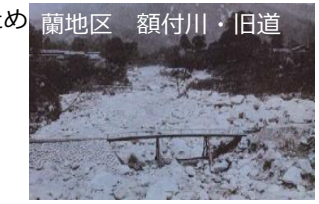
市之倉川とそれに流れ込む支流における普請箇所を示す
「市之倉郷石砂留普請絵図」（多治見市図書館郷土資料室提供に一部加筆）

過去の主な災害（木曽川水系）

«木曽川水系»

明治37年7月　［蘭川水害］による災害（南木曽町）

1904（明治37）年7月9日から11日にかけて豪雨のため
蘭川流域の各所で土石流が発生
死者52名
負傷者17名
流出家屋57戸



昭和7年8月　［四ツ目川災害］集中豪雨による災害（中津川市）

集中豪雨により四ッ目川が氾濫
中津川市内
死者2名、負傷者24名
流出家屋63戸、全半壊住宅245戸、
土石流入家屋212戸
橋の流失18ヶ所、道路決壊18km

中津川市内の被災状況

中津川市内の被災状況

昭和41年6月　［南木曽災害］豪雨による災害（南木曽町）

豪雨により南木曽町を中心に各所で土石流が発生、三留野地区をはじめとして家屋流出、全壊38戸、半壊111戸、橋梁の流出等

土石流に破壊された家屋

南木曽橋の主桁にせまる濁流（出典：「中部の水害」）

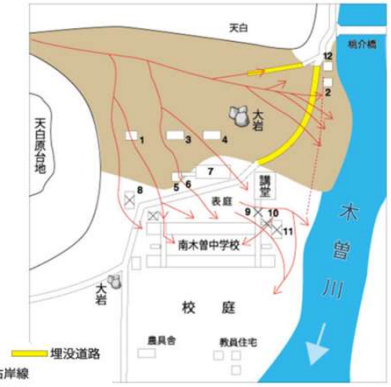
大正12年7月　［蛇抜け］集中豪雨による災害（大桑村）

梅雨末期の集中豪雨が1週間程度続き7月18日に蛇抜けが発生
死者26名、負傷者34名、流出家屋31戸

昭和28年7月　［伊勢小屋蛇ぬけ］土石流による災害（南木曽町）

豪雨による災害。道路交通の途絶、
国鉄中央本線の不通により落合村は孤立
犠牲者3名、流失家屋5戸

○「じゃぬけ　伊勢小屋沢その後の45年」を加筆



1953年（昭和28年）7月20日に発生した「蛇ぬけ（土石流）」の犠牲者3名の慰霊と悲惨な災害を2度と起こさないことを願い、7周年にあたる1960年（昭和35年）に建設されました。

○碑文解説

白い雨が降るとぬける
　しぶきであたり一面が白っぽくなり視界が悪くなる状況になると「蛇ぬけ」が発生する。
尾先　谷口　宮の前
　尾根の先端、谷の出口、お宮の前には家を建てるな。この災害は「谷の出口」で起こっている。
雨に風が加わると危ない
　風によって木の根がゆるみ、流木の発生が促進されることがある。
長雨後　谷の水が急に止まったら　ぬける
　学校へ行く途中、伊勢小屋沢土橋付近の水量は、少ないように思った。
蛇ぬけの水は黒い　蛇ぬけの前はきな臭い匂いがする
　水の色はドス黒く、ドロのような臭いが鼻をついて、なんとも言い表せない恐ろしさを感じた。

出典「「蛇ぬけの碑」の教訓」（平成22年度（社）砂防協会 通常総会並びに研究発表会「長野大会」）を加筆

令和3年8月　豪雨による土砂移動

流出土砂捕捉後

地獄谷第４砂防堰堤（中津川市）

流出土砂捕捉後

本谷第１砂防堰堤（中津川市）

過去の主な災害（庄内川水系）

«庄内川水系»

昭和32年8月　豪雨による災害（多治見市・土岐市）

豪雨により多治見市・土岐市で多数の山腹・渓岸崩壊が発生
浸水被害も甚大であった
多治見市：床上・床下浸水5,158戸
　　全壊・半壊家屋住家52戸
土　岐　市：床上・床下浸水4,456戸
　　全壊・半壊住家69戸

土砂流出により埋まった家屋

通行止めになった県道

平成元年9月　台風22号による災害（多治見市・土岐市）

台風２２号により多治見市・土岐市で多くの浸水や土砂災害が発生
多治見市で床上・床下浸水33戸、土岐市で床上・床下浸水459戸
全半壊5戸、崩壊により死者1名

土岐市内の浸水状況

崩壊した斜面
(土岐市西山)

平成11年6月　梅雨前線による災害（多治見市・土岐市）

肥田川支渓流から流出した土砂と流木

平成23年9月　台風15号による災害（多治見市・土岐市）

台風１５号により多治見市・
土岐市で多くの浸水や土砂
災害が発生
床上浸水228戸
床下浸水195戸
死者2名　行方不明1名

道路を塞ぐ土石流(多治見市)

多治見市平和町

土岐市内の浸水状況

近年の災害（梨子沢土石流）

平成26年7月9日　長野県南木曽町で発生した土石流災害

平成26年7月9日に、長野県木曽郡南木曽町を流れる梨子沢において大規模な土石流が発生し、死者１名・軽傷３名、住宅全壊10棟・一部損壊３棟などの甚大な被害が生じました。また、JR中央本線では橋梁が流出し、国道19号には大量の土砂が流出するなど、交通機関にも大きな影響を与えました。

災害復旧状況

梨子沢の災害復旧工事には、国土交通省、林野庁中部森林管理局、長野県、南木曽町が連携して取り組みました。

:既設施設

:新設施設

写真撮影方向

＜ 梨子沢第1砂防堰堤 ＞

＜ 梨子沢第2砂防堰堤 ＞

災害後に、緊急的に除石を実施しました。

＜ 梨子沢第3砂防堰堤 ＞

＜ 梨子沢第4砂防堰堤 ＞

近年の災害（御嶽山噴火災害）

平成26年9月27日　御嶽山で発生した火山噴火災害

　平成26年9月27日に、岐阜県と長野県をまたぐ御嶽山において火山噴火災害が発生しました。
　災害発生直後より、土砂災害防止法に基づく緊急調査に着手し、二次災害防止等の対策として監視カメラ、ワイヤーセンサー、ブロック積み砂防堰堤等を設置しました。

噴火直後の上空からの様子

ブロック積み砂防堰堤の設置状況

監視カメラ設置状況

緊急調査の実施
(降灰状況調査)

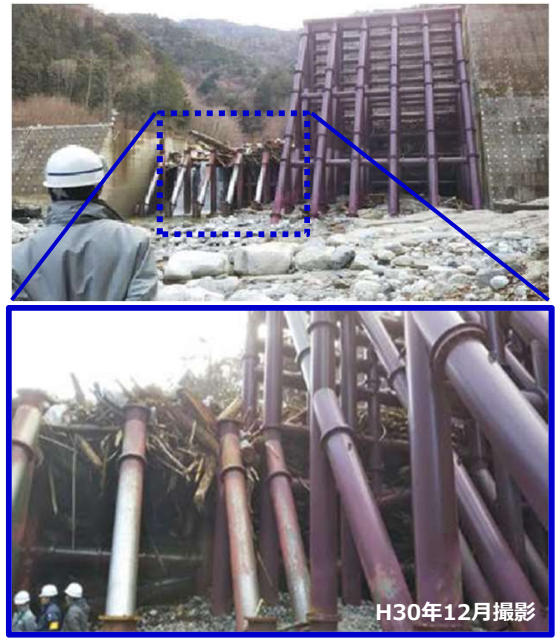
シミュレーションの実施状況

土砂流出等による影響範囲の
シミュレーション結果

ワイヤーセンサーの設置状況

主な効果事例

越百川第3砂防堰堤（土砂等の捕捉）



平成30年８～９月の大雨により土石流が発生し、整備途中ではあったものの土砂・流木を捕捉し被害を防止。
捕捉土砂量：約20,000m3
総雨量：①136mm（8月15日22時～8月16日21時）
②99mm（9月4日7時～9月5日11時）
時間最大雨量：①35mm（8月16日16時～17時）
②23mm（9月4日17時～18時）

滑川第1砂防堰堤（除石）

令和3年8月の大雨により土砂移動が発生し、事前防災の除石効果により土砂等を捕捉し被害を防止。
捕捉土砂量：約90,000m3
連続雨量：347mm（発生まで）（8月12日14時～8月14日22時）
時間最大雨量：43mm（8月14日21時～22時）

滑川第一砂防堰堤　主な既往土砂捕捉実績（直近）				
年	H16	H22	R2	R3
捕捉量（m3）	80,000	64,000	50,000	90,000

本谷第1砂防堰堤

令和3年8月の大雨により土砂移動が発生。
既設と改築中の砂防堰堤が土砂を捕捉し、下流への被害を未然に防止。

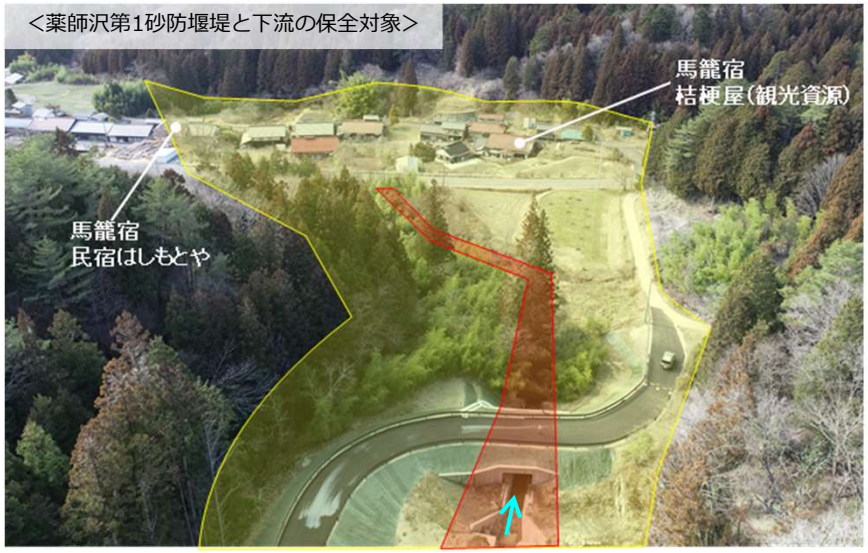
地獄谷第４砂防堰堤

令和3年8月の大雨により土砂移動が発生。
透過型砂防堰堤が、土砂と流木を捕捉し下流地区の被害を未然に防止。

近年の施工状況

薬師沢第1砂防堰堤（中津川市）

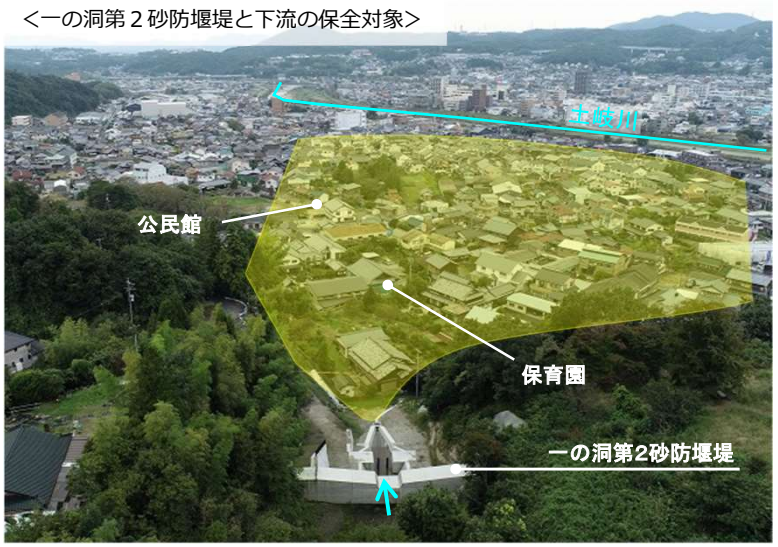
宿場町や人家等への被害を防ぐ砂防堰堤が、令和５年11月に完成しました。



:土砂災害特別警戒地域
:土砂災害警戒地域

一の洞第２砂防堰堤（土岐市）

公民館や保育園、人家等への被害を防ぐ砂防堰堤が、令和５年３月に完成しました。

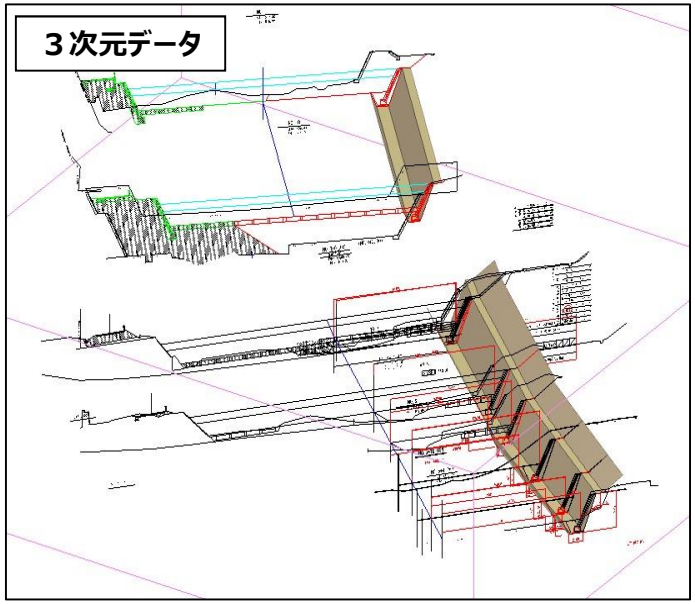


:土砂災害警戒地域

DXの取り組み

砂防工事におけるICTの活用

あらかじめ作成された３次元データに基づきICT建機（マシンガイダンスバックホウ）による護岸の床掘りを実施。
オペレーターはデータに基づくガイダンス画面に従って掘削作業を行うため、丁張や測量作業を軽減するなど省人化により工事の生産性や安全性が向上。



タブレットの画面

土砂災害の監視体制の整備

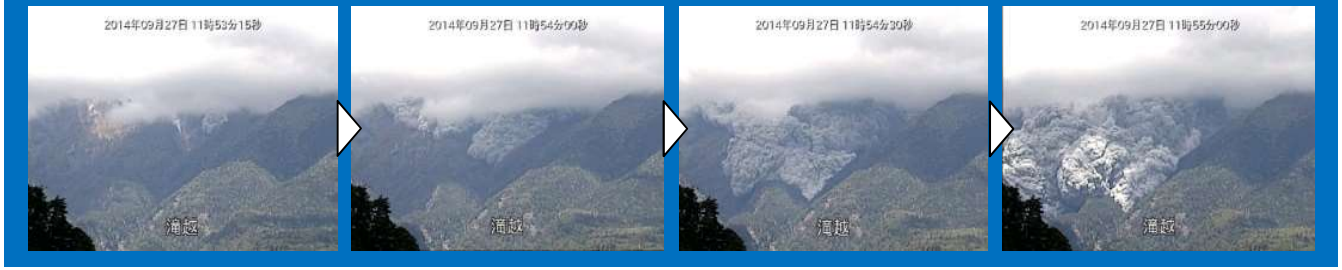
CCTVカメラによる映像の配信（多治見砂防国道事務所ホームページ）

洪水時等における土砂の流出状況や砂防堰堤の施設状況把握などのため、監視カメラの映像を事務所ホームページで配信しています。

木曽川砂防・庄内川砂防カメラ　**https://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/desk/sabou_live.html**

御嶽山カメラ　**https://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/sabo/ontake/**

御嶽山の噴火状況（CCTVカメラがとらえた映像）



長野県南木曽町梨子沢で発生した土石流の状況（CCTVカメラがとらえた映像）
https://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/sabo/mov/camera_rec.html

減災対策の取組（１）

市町村・県と連携した合同防災訓練の実施

合同防災訓練は、大規模土砂災害発生時の関係機関の災害対応能力の向上や連携強化を目的とした訓練で、平成１８年度より管内の６市町村（土岐市、上松町、南木曽町、大桑村、多治見市、中津川市）にて順次実施しています。

＜令和５年度　土岐市大規模土砂災害合同防災訓練＞

令和５年６月２２日に土岐市を対象として開催しました。

■訓練概要

関係機関の災害対応の見える化と顔の見える関係づくりを目的に、令和５年度は大雨により複数箇所において同時多発した土砂災害を想定した図上ワークショップ形式で実施し、約４０名に参加いただきました。訓練では、土岐市・岐阜県及び国土交通省の各機関の対応を確認し、相互の連携強化を図るとともに、災害対応能力の向上を目指しました。

合同防災訓練会場の様子

森下事務所長　挨拶

グループ討議の様子

全体協議の様子

令和６年度　多治見砂防国道事務所災害協定の締結

砂防事業（御嶽山を含む）管内において災害が発生した場合に、被害の拡大防止や被災施設の早期復旧を図るために実施する応急対策業務に関する協定（３ヵ年）を、令和６年４月１日に、土木関係建設コンサルタント等の１０者と締結しました。

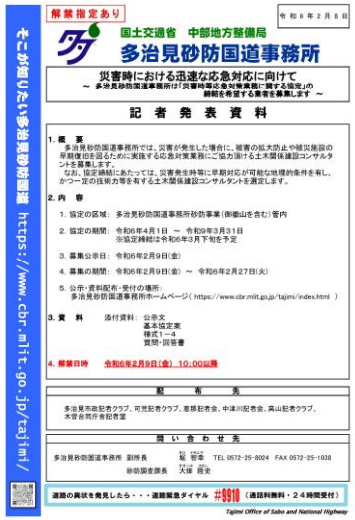
■協定の業務内容

土石流等の氾濫シミュレーション、ＵＡＶによる公共測量、土石流等の監視、緊急応急対策検討等

■協定の区域

多治見砂防国道事務所砂防事業（御嶽山を含む）管内

協定の区域


解禁指定あり

令和６年２月８日

国土交通省　中部地方整備局

多治見砂防国道事務所

災害時における迅速な応急対応に向けて
～ 多治見砂防国道事務所が「災害時等応急対策業務に関する協定」の締結を希望する業者を募集します ～

記　者　発　表　資　料

1. 概　要
多治見砂防国道事務所では、災害が発生した場合に、被害の拡大防止や被災施設の早期復旧を図るために実施する応急対策業務にご協力頂ける土木関係建設コンサルタントを募集します。
なお、協定締結にあたっては、災害発生時等に早期対応が可能な地理的条件を有し、かつ一定の技術力等を有する土木関係建設コンサルタントを選定します。

2. 内　容
1. 協定の区域：多治見砂防国道事務所砂防事業（御嶽山を含む）管内
2. 協定の期間：令和6年4月1日 ～ 令和9年3月31日
※協定締結は令和6年3月下旬を予定
3. 募集公示日：令和6年2月9日(金)
4. 募集の期間：令和6年2月9日(金) ～ 令和6年2月27日(火)
5. 公示・資料配布・受付の場所：
多治見砂防国道事務所ホームページ（https://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/index.html ）

3. 資　料　添付資料：公示文
基本協定案
様式1～4
質問・回答書

4. 解禁日時　令和6年2月9日(金) 10:00以降

配　有　先
多治見市政記者クラブ、可児記者クラブ、恵那記者会、中津川記者会、高山記者クラブ、木曽合同庁舎記者室

問　い　合　わ　せ　先
多治見砂防国道事務所　副所長　松 智幸　TEL 0572-25-8024　FAX 0572-25-1038
砂防調査課長　大塚 直史

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル　#9910（通話料無料・２４時間受付）

Tajimi Office of Sabo and National Highway

そこが知りたい多治見砂防国道　https://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/

締結業者募集の記者発表資料

土石流監視の検討

UAVによる測量・変状計測

業務内容イメージ

減災対策の取組（２）

御嶽山火山噴火緊急減災対策砂防計画 [1/2]

1．御嶽山火山噴火緊急減災対策砂防計画

御嶽山火山噴火緊急減災対策砂防計画は、御嶽山の噴火に伴って起きる土砂移動（土砂災害）による被害をできる限り軽減（減災）することを目的として、平成23年 (2011年) 7月に策定運用してきたが、平成26年 (2014年) 9月の噴火後に実施した緊急減災対策を踏まえて抽出・整理した課題への対応策や、計画の実効性向上に向けた取り組みの記載など、砂防計画全体を見直し策定した。

2．対象とする土砂移動現象

緊急ハード対策で対象とする現象は、降灰後土石流、融雪型火山泥流とする

降灰後土石流

火山灰等が堆積した斜面への降雨で発生する現象。少量の降雨でも起こり、噴火終了後も数年間、継続して発生することがある。

雲仙普賢岳1991年噴火後に発生した土石流
（撮影：国土交通省）

- 想定噴火：水蒸気噴火（10万m³DRE）
- 降　雨　：2年超過確率規模(緊急ハード)
  100年超過確率規模(緊急ソフト)
- 対策対象：降灰堆積厚が5cm以上となる土石流危険渓流のうち、保全対象が被災する可能性のある渓流（5箇所）

融雪型火山泥流

噴火による高温の噴出物が、火口付近の積雪を急速に解かし、それによって発生した大量の水が周辺の土砂をまき込みながら流下する現象。

1926 年十勝岳噴火に伴った融雪型火山泥流の跡
（出典：上富良野町郷土館
大正15年十勝岳大爆発記録写真集、1980）

- 想定噴火　：マグマ噴火(1000万m³DRE)
- 誘因現象　：中規模火砕流（温度800度）
- 積　雪　　：年間最大積雪量の平均値
  （火口付近で165cm，密度0.4g/cm³）
- 対策対象　：上記火砕流の流下が想定される11方向で想定し、保全対象が被災する可能性ある箇所（14箇所）

3．緊急対策の考え方

- 噴火に伴う土砂移動現象（土砂災害）から、住民や観光客の避難路を保全し、生命・財産の被害をできる限り軽減（減災）することを基本方針とする。
- 緊急対策は、噴火等が発生している非常時対応と火山活動が平穏な平常時対応との組み合わせである。
- 緊急対策は限られた時間、資機材による対策であり、対応可能な現象・規模には限界があることに留意する。
- 限られた時間と資機材を有効利用するため、緊急ハード・ソフト対策を組み合わせて柔軟に対応する。
- 緊急時の対応の実効性向上に向けて、平常時からの準備（資機材の備蓄、情報伝達・共有手段の確認、訓練など）を実施する。

御嶽山火山噴火緊急減災対策砂防計画の概要 [2/2]

4．緊急ハード対策

- 噴火に伴い発生する土砂移動（土砂災害）に対して、効果を最大限発揮できる箇所で実施する。
- 対策工法として、コンクリートブロック積み砂防堰堤、護岸の嵩上げ等、保全対象上流側に既設砂防堰堤がある場合は除石などを実施する。
- 対策実施に際しては、無人化施工も視野に入れて検討する。

コンクリートブロック積み砂防堰堤
（鹿ノ瀬川、国土交通省中部地方整備局）

大型土のうによる護岸の嵩上げ
（鈴ヶ沢、長野県）

砂防堰堤の除石
（湯川、長野県）

H26噴火時の対応事例

5．緊急ソフト対策

- 火山活動が活発化した際に現状を把握するため、緊急調査を実施する。
- 噴火時の状況把握や関係機関や住民等への情報提供などを行い、火山活動の推移に応じて、以下の対策を実施する。

- 監視・観測機器の緊急的な設置
- リアルタイムアナリシス型およびプレアナリシス型リアルタイムハザードマップ等による氾濫範囲の想定
- 緊急ハード対策施工時の安全管理

御嶽山における緊急ソフト対策イメージ

H26噴火時の対応事例

6．実効性向上に向けた取り組み

- 緊急ハード・ソフト対策を迅速かつ効率的に実施するため、平常時から準備を行う。
  - 緊急ハード・ソフト対策図面の作成
  - 必要資機材の把握と備蓄
  - 工事用道路の整備
  - 関係機関との調整（許認可）
  - 対策箇所の用地確保と砂防指定地化
  - コンクリートブロックの作成と備蓄
  - 対策箇所の地権者確認と使用許諾
- 関係機関での役割分担を確認しつつ、継続的な連携・情報共有が必要である。
- 関係機関参加による、噴火を想定した防災演習を実施する。
- 住民等への防災教育や広報活動等を通して御嶽山や土砂防災の理解を広める。
- 最新の対策工法や監視観測技術等を活用し、技術開発の推進を図る。

防災活動（防災TEC・防災訓練）への取組

令和５年6月 自治体と連携して砂防施設の点検を実施

土砂災害防止月間の取り組みとして、自治体も連携して砂防施設の点検を実施しました。点検では砂防施設の機能が維持されているかを、渓流の状況とともに確認し、ドローン等を用いて、日頃より職員が気をつけている点検の視点を共有しました。

■参加者
中部地方整備局 多治見砂防国道事務所、岐阜県多治見土木事務所、多治見市、土岐市、多治見さぼう・みちボランティアクラブ

砂防施設点検の説明

ドローンを用いた点検

砂防施設の点検
（土岐市：砦山第4砂防堰堤）

砂防施設の点検（打音検査）
（土岐市：砦山第7砂防堰堤）

令和６年１月 能登半島地震に伴う被害状況調査を支援

国土交通省緊急災害対策派遣隊「TEC-FORCE（テックフォース）」は、大規模な自然災 害時に、被害状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧など に取り組み、地方公共団体を支援するものです。

■TEC-FORCE砂防班１班４名の派遣
令和６年１月の能登半島地震による被災状況調査のため、 多治見砂防国道事務所は職員４名を TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）として、令和６年1月３日～６日まで、石川県輪島市に派遣しました。

石川県庁での合同会議

急傾斜地の被災状況調査

地元の方への被害状況聞き取り

ＵＡＶによる被害状況調査

地域と協働した取組

グリーンベルト事業、里山砂防事業

多治見市、土岐市の市街地に隣接する山麓斜面を一連の緑地帯（グリーンベルト）として、行政（市・県・国）と地域（住民・中学生）が連携して保全・創出することにより、土砂災害を防止し、自然環境・景観を保全することを目的としています。

＜ 基 本 理 念 ＞

土岐川流域グリーンベルト整備事業は、互いの連携・協力のもと、はげ山から再生した丘陵を、より安全で豊かな都市山麓につくりあげていくものである。

＜ 基 本 方 針 ＞

- 山麓斜面を防災的に強い樹林地とし、土砂災害を防止する
- 土砂災害の恐れのある地域に対し、適正な土地利用に誘導する
- 防災機能が高く、種の多様性に富む樹林地を保全・創出する
- 生活に憩いをもたらす自然景観を保全する
- 身近な自然体験（環境学習や森林レクリエーション）の場を提供する

■樹林整備活動（里山砂防）地区

■目指す樹林の姿

○マツ枯れによるアカマツの立枯れ･折損･倒木
○常緑広葉樹の低木・亜高木林の繁茂

・切る木
ヒサカキ・ソヨゴなどの常緑樹、樹種を問わず株立ちしている木で、細い木、枯れている木
・残す木
ツツジ・コナラ等の落葉樹、樹種を問わず太くて丈夫な木など

目標樹林（落葉広葉樹林）
○様々な木や下草が
“バランスよく生育している森”へ

■中学校と連携した活動状況（例年実施している主な活動）

室内学習「砂防・森のはなし」

森の土の観察

支援者のもとで伐採作業

■地域協働によるグリーンベルト事業と里山砂防事業

作業道のルート図

地域共働による
身近な自然体験の場の提供

市民による樹林整備活動

手づくり郷土賞 授与式

小学生等を対象とした防災教育の取組・広報活動（１）

砂防教室・あおぞら教室

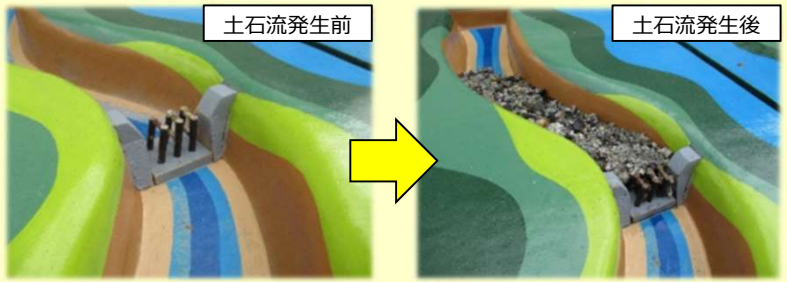
毎年6月の土砂災害防止月間を中心に、管内の小学生（主に4年生）を対象として、土砂災害をはじめとした防災を学ぶ場「砂防教室・あおぞら教室」を開催しています。

砂防施設と土石流の話を聞く

砂防堰堤の見学（雲五川第１砂防堰堤）

本物の水と土砂で土石流模型実験を体験

床固工と魚道の役割を学ぶ



砂防堰堤が土石流を止めている状況が一目瞭然！

降雨体験機（外観）

←20mm、50mm、120mm/hの雨を体験することができる

降雨体験機で120mm/hの豪雨を体験

建設機械への乗車体験

X（旧Twitter）による情報発信

砂防事業の魅力を広く知ってもらうため、SNSを活用した情報発信を行っています。

事務所公式アカウント
ぜひフォローください！→

国土交通省_多治見砂防国道事務所（砂防）(@milt_tajimi_sb)/Twitter
Mobile.twitter.com

小学生等を対象とした防災教育の取組・広報活動（２）

SABOカード

『SABOカード』とは砂防施設の魅力を情報発信するために配布する広報用のカード型パンフレットです。

木曽川・庄内川流域の砂防事業が国の直轄事業になって８０年を迎えるにあたり、砂防施設に関心を持って頂き、砂防事業に、より理解を深めて頂くことを目的として中部地方整備局管内では初めて『SABOカード』を製作しました。

イベントでの配布のほか、事務所、出張所、砂防施設近隣の公共施設等にて配布しています。

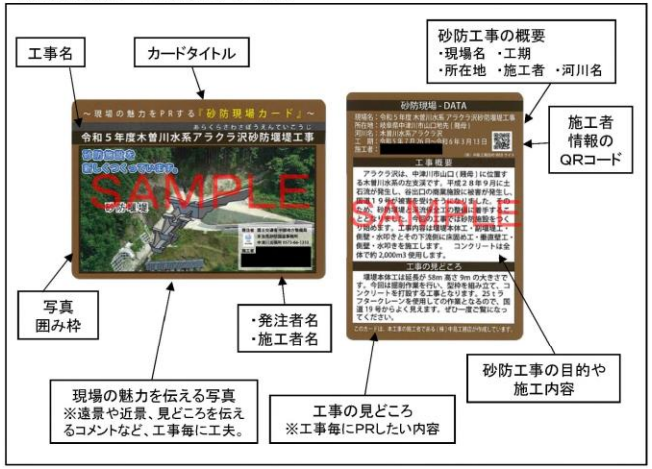
砂防現場カード

『砂防現場カード』とは、砂防工事の魅力を情報発信するために配布する広報用のカード型パンフレットとして、当事務所の砂防工事を受注した施工者が作成しているものです。

施工者において、それぞれ砂防工事の現場の魅力を発信するために様々な場面で配布します。事務所がカードのサンプルを保有している場合は、事務所ＰＲコーナーや出張所窓口に設置します。

砂防現場カードの基本デザインは、表面に現場の魅力を伝える写真、裏面に砂防現場データや工事の見どころを載せています。

【砂防現場カードの基本デザイン】



【現場における配布の様子】

妻木砂防遺産のある町さんぽ構想

基 本 理 念

地域住民・小中学生・観光客等が、砂防遺産や妻木町の歴史文化を巡る『さんぽ』を通じて、地域社会における砂防との関わりを気軽に楽しく体験・学習できるよう、妻木砂防遺産のある町さんぽ構想として策定するとともに、その環境を整備する。

浦山第2砂防堰堤

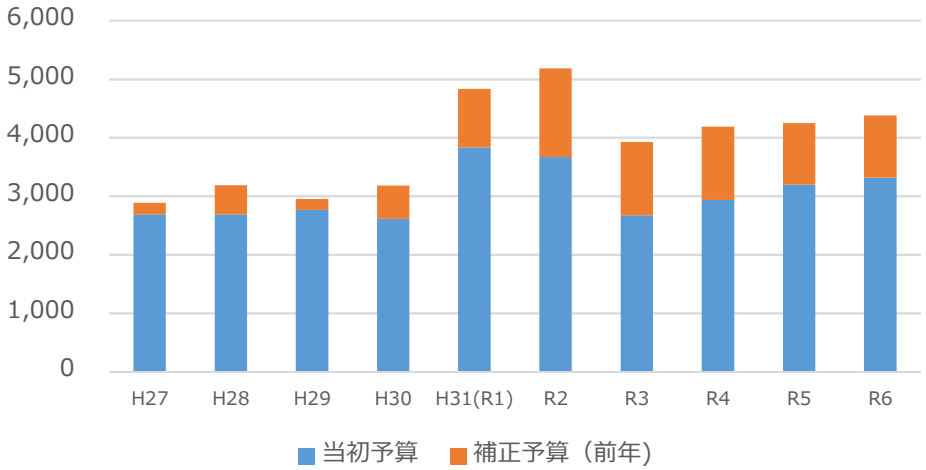
令和６年度の直轄砂防事業（１）

直轄砂防事業費

（単位：百万円）

流域名	R4補正	R5当初	R5補正	R6当初	R6/R5 当初比	(R5補正+R6当初)/R5当初比	(R5補正+R6当初)/(R4補正+R5当初)比
木曽川水系	859	2,657	915	2,755	1.04	1.38	1.04
庄内川水系	194	541	151	561	1.04	1.32	0.97
合　計	1,053	3,198	1,066	3,316	1.04	1.37	1.03

直轄砂防事業費　予算推移



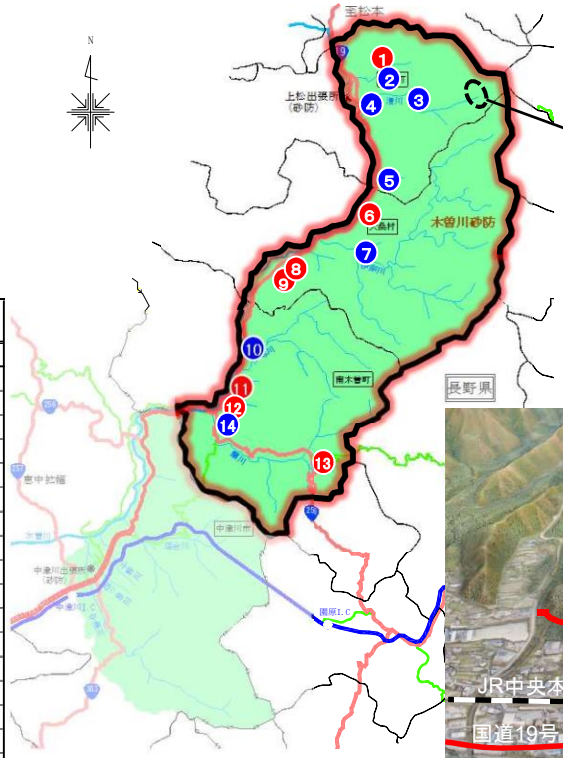
1.板橋沢第１砂防堰堤（上松町）

9.下在砂防堰堤工群（大桑村）

木曽川砂防（長野県）の事業個所

（単位：百万円）

事業区分	水系	河川名	渓流名	箇所名	所在地 市・郡	区・町・村	字名等	工種	R5補正	R6当初	計	備考
砂防												
木曽川水系（長野県）												
1	木曽川	木曽川	板橋沢	いたはしざわだいいちさぼうえんてい 板橋沢第１砂防堰堤	木曽郡	上松町	小川	砂防堰堤工	－	207	207	
2	木曽川	木曽川	十王沢	じゅうおうざわだいさんさぼうえんてい 十王沢第３砂防堰堤	木曽郡	上松町	小川	砂防堰堤工	－	32	32	
3	木曽川	滑川	滑川	なめかわゆうさこう 滑川遊砂工	木曽郡	上松町	小川	遊砂地工	－	35	35	
4	木曽川	滑川	滑川	なめかわがゆう とこがためこうぐん 滑川下流床固工群	木曽郡	上松町	荻原	床固工	－	32	32	
5	木曽川	木曽川	大沢	おおさわだいいちさぼうえんてい 大沢第１砂防堰堤	木曽郡	上松町	荻原	砂防堰堤工	－	32	32	
6	木曽川	木曽川	猿沢	さるさわだいいちさぼうえんてい 猿沢第１砂防堰堤	木曽郡	大桑村	上郷	砂防堰堤工	－	32	32	
7	木曽川	伊奈川	矢垂沢	やたれさわさぼうえんてい 矢垂沢砂防堰堤	木曽郡	大桑村	長野	砂防堰堤工	－	36	36	
8	木曽川	木曽川	太田	おおただいいちさぼうえんてい 太田第１砂防堰堤	木曽郡	大桑村	野尻	砂防堰堤工	－	180	180	
9	木曽川	木曽川	深沢、宮ノ沢 蛇抜沢、中河原沢	しもざいさぼうえんていこうぐん 下在砂防堰堤工群	木曽郡	大桑村	野尻	砂防堰堤工	－	261	261	
10	木曽川	与川	与川	よがわだいいちさぼうえんてい 与川第１砂防堰堤	木曽郡	南木曽町	読書	砂防堰堤工	－	32	32	
11	木曽川	木曽川	蛇抜沢	わごうじゃぬけざわちんさちこう 和合蛇抜沢沈砂地工	木曽郡	南木曽町	和合	遊砂地工	－	217	217	
12	木曽川	木曽川	戦沢	せんさわだいにさぼうえんてい 戦沢第２砂防堰堤	木曽郡	南木曽町	吾妻	砂防堰堤工	－	57	57	
13	木曽川	蘭川	桂川	かつらがわだいいちさぼうえんてい 桂川第１砂防堰堤	木曽郡	南木曽町	広瀬	砂防堰堤工	180	37	217	
14	木曽川	蘭川	地蔵沢	じぞうさわだいいちさぼうえんてい 地蔵沢第１砂防堰堤	木曽郡	南木曽町	吾妻	砂防堰堤工	－	31	31	
15	木曽川			あげまつかんないさぼうしせつかいちく 上松管内砂防施設改築	木曽郡	上松町、大桑村、南木曽町			283	399	682	
									463	1,620	2,083	



滑川上流の崩壊状況

凡例	
● 工事中	● 計画・調整

11.和合蛇抜沢沈砂地工（南木曽町）

令和６年度の直轄砂防事業（２）

木曽川砂防（岐阜県）の事業個所

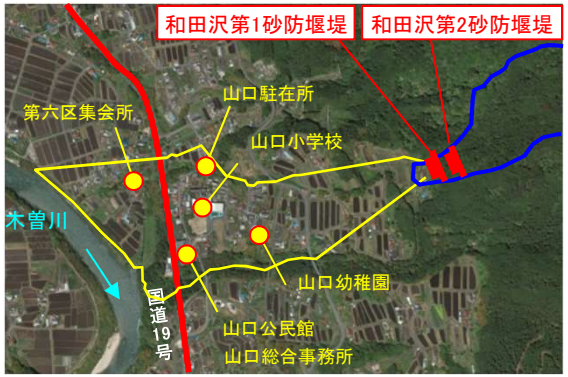
（単位：百万円）

事業区分	水系	河川名	渓流名	箇所名	所在地 市・郡	所在地 区・町・村	所在地 字名等	工種	R5補正	R6当初	計	備考
砂防												
木曽川水系（岐阜県）												
1	木曽川	木曽川	アラクラ沢	アラクラ沢砂防堰堤	中津川市		山口	砂防堰堤工	－	136	136	
2	木曽川	木曽川	和田沢	和田沢砂防堰堤	中津川市		山口	砂防堰堤工	－	188	188	
3	木曽川	木曽川	新梨沢	新梨沢砂防堰堤	中津川市		山口	砂防堰堤工	－	26	26	
4	木曽川	落合川	落合本谷	本谷砂防堰堤改築	中津川市		落合	砂防堰堤工	120	36	156	
5	木曽川	中津川	中津川	中津川第１２砂防堰堤	中津川市		中津川	砂防堰堤工	－	31	31	
6	木曽川	中津川	弥太洞	弥太洞第３砂防堰堤	中津川市		川上	砂防堰堤工	－	32	32	
7	木曽川			中津川管内砂防施設改築	中津川市			砂防堰堤工	332	686	1,018	
									452	1,135	1,587	

庄内川砂防（岐阜県）の事業個所

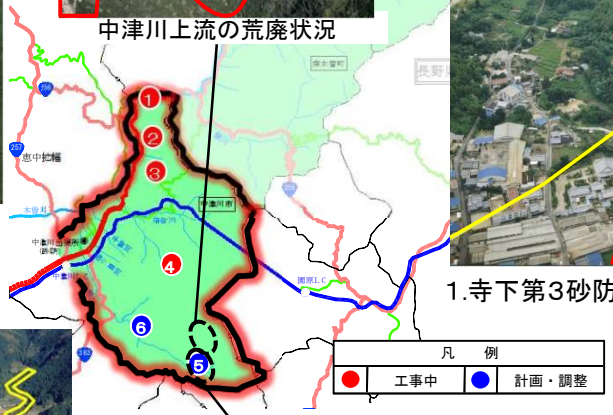
（単位：百万円）

事業区分	水系	河川名	渓流名	箇所名	所在地 市・郡	所在地 区・町・村	所在地 字名等	工種	R5補正	R6当初	計	備考
砂防												
庄内川水系												
1	庄内川	笠原川	寺下谷	寺下第３砂防堰堤改築	多治見市	笠原町		砂防堰堤工	－	147	147	
2	庄内川		星ヶ台１	星ヶ台砂防堰堤	多治見市	星ヶ台		砂防堰堤工	－	23	23	
3	庄内川	笠原川		厩ヶ洞砂防堰堤工群	多治見市	笠原町		砂防堰堤工	－	46	46	
4	庄内川	笠原川	深田洞	深田洞砂防堰堤	多治見市	大畑町		砂防堰堤工	－	24	24	
5	庄内川			妻木管内砂防施設改築	土岐市、多治見市			砂防堰堤工	151	321	472	
									151	561	712	



2.和田沢砂防堰堤（中津川市）

中津川上流の荒廃状況



1.寺下第3砂防堰堤改築（多治見市）

4.深田洞砂防堰堤（多治見市）

3.新梨沢砂防堰堤（中津川市）

平成12年9月の恵南豪雨時の
流木による被災状況（中津川支川一ノ沢）

事務所ホームページはこちら！
https://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/

事務所X（旧Twitter）はこちら！
https://twitter.com/mlit_tajimi_sb

庄内川水系砂防

雲五川床固工群（流路工）［土岐市］

一の洞第２砂防堰堤［土岐市］

市之倉おりべ砂防堰堤（中峰谷第1砂防堰堤）［多治見市］

多治見砂防国道事務所

〒507-0023　岐阜県多治見市小田町4-8-6

□事務所代表　TEL：0572-25-8020　FAX：0572-25-7994
□用地第一課　TEL：0572-25-8022　FAX：0572-25-7994
□工務第一課　TEL：0572-25-8023　FAX：0572-25-1038
□砂防調査課　TEL：0572-25-8024　FAX：0572-25-1038

□上松出張所　〒399-5605　長野県木曽郡上松町栄町2-9
TEL：0264-52-4863　FAX：0264-52-2734

□中津川出張所　〒508-0045　中津川市かやの木町4-1
TEL：0573-66-1353　FAX：0573-65-3003

□妻木出張所　〒509-5301　土岐市妻木町万場1135-2
TEL：0572-57-6213　FAX：0572-57-6679